

平成24年10月17日
学校教育政策課

併設型中高一貫教育校の設置に向けた検討について

1 福井型中高一貫教育について

- 平成17年度から、あわら地域、朝日地域、三方・美浜地域の3地域において福井型中高一貫教育を実施
- 連携中学校では、現在、中学3年進級時に連携クラスを編成しており、連携クラスの生徒は面接・作文で、連携高校に入学
 - あわら地域 …金津中学校(19名)・芦原中学校(19名)と金津高校(136名)
 - 朝日地域 …朝日中学校(20名)と丹生高校(83名)
 - 三方・美浜地域…三方中学校(21名)・美浜中学校(17名)と美方高校(132名)
- 福井型中高一貫教育では、数学・英語等の授業で高校の教員が中学の教員とTTの授業を行うなどして連携(学習指導要領の改訂によりTTの授業時数が減少することが課題)
- これまでに1期生と2期生、合計236名が高校を卒業し、約4割が国公立大学に進学

2 併設型中高一貫教育について

- 併設型中高一貫教育校では、高校の学習内容を中学で先取りするなど弾力的な教育課程編成が可能

全国における公立中高一貫教育校の設置状況

| 区分 | 中等教育学校 | 併設型 | 連携型 | 計 |
|-------|--------|-----------|-----------|------|
| 都道府県立 | 12県24校 | 31都道府県62校 | 34都道府県83校 | 169校 |
| 市立 | 4都県4校 | 12府県13校 | 0校 | 17校 |
| 公立計 | 28校 | 75校 | 83校 | 186校 |

※京都府立洛北高校・附属中学校 (H16 設置)

中学 各学年 80 名

高校 普通科 I 類 (地域枠 80)、II 類 (文理枠 80)、III 類 (体育 40)、
中高一貫コース (80)

- ・ 公立中学校よりも多い授業時数
- ・ 数学等の教科において、高校の学習内容を中学校で先取り
- ・ 内進生と外進生は完全に分離して学級編成

※京都市立西京高校・附属中学校 (H16 設置)

中学 各学年 120 名

高校 各学年エンタープライジング科 280 名

- ・ 公立中学校よりも多い授業時数
- ・ 中学 3 年前期で、中学課程をほぼ終了
- ・ 内進生と外進生を高校 2 年で混合して学級編成

3 「福井県立高等学校改革検討委員会」による検討について

本県ではこれまで連携型の中高一貫教育を実施してきたが、併設型の中高一貫教育の実施についても検討が必要

- ・ 10月26日(金)に「福井県立高等学校改革検討委員会」を開催して協議を始め、年度末までに方向性を決定
委員 県内外の大学関係者、市町教育委員、PTA関係者
県外の併設型中高一貫教育校長 等
- ・ 11月中に検討委員会を2回開催し、併設型中高一貫教育校の設置にかかる検討等の中間とりまとめを行い、議会、県民等に周知
- ・ 年明けにも検討委員会を開催し、併設型中高一貫教育校の設置等についての提言をとりまとめ
- ・ その後、教育委員会において、本県としての併設型中高一貫教育校および福井型中高一貫教育についての今後の方向性を決定

6年間の主な学習内容

(京都府立洛北高校附属中学校)

| 学校 | 中 学 校 | | | 高 校 | | | | | |
|-----------|--|-----|-----|--|-----|-----|---|--|--|
| 学年 | 1 年 | 2 年 | 3 年 | 1 年 | 2 年 | 3 年 | | | |
| 教科 | 基 礎 期 | | | 充 実 期 | | | | | |
| 内容 | 小学校までの学習をもとに、各教科の専門的知識の基礎を固め、さらなる学習の楽しさ、興味を発見します。 | | | 中学・高校の授業内容を再構成し、発展学習へステップアップするためのオールラウンドな力を身に付けます。 | | | | | |
| 国語科 | <p>○詩、短歌、俳句を読み味わい、作者のものの見方や感じ方をとらえる。</p> <p>○説明的文章や随筆等の内容を正確に読み取り、文の構成、要旨や主題を把握し、自分の考えを発表する。</p> <p>○文学的文章について、場面や状況、文の展開を把握し、表現の豊かさを味わい、人物の立場や心情を考察する。</p> <p>○伝統的な言語文化と国語の特質について理解し、古文、漢文を読み味わう。</p> <p>○書写の学習を通して、伝統と文化について理解し、実技・鑑賞を通して味わうとともに、他教科の学習や日常生活で生かしていく。</p> | | | <p>○詩、短歌、俳句を読み味わい、詩、短歌、俳句を作り、互いに鑑賞する。</p> <p>○説明的文章や随筆等の内容を正確に読み取り、文の構成、要旨や主題を把握し、自分の考えを述べる。</p> <p>○文学的文章について、場面や状況、文の展開を把握し、表現の豊かさを味わい、人物の立場や心情を考察する。</p> <p>○伝統的な言語文化と国語の特質について理解を深め、古文、漢文を読み味わう。</p> <p>○書写の学習を通して、伝統と文化についてより深く理解し、実技・鑑賞を通して味わうとともに、他教科の学習や日常生活で生かしていく。</p> | | | <p>○高等学校「国語総合」</p> <p>○説明的文章や随筆等の内容を正確に読み取り、文の構成、要旨や主題を把握し、自分の考えを説明する。</p> <p>○文学的文章について、場面や状況、文の展開を把握し、表現の豊かさを味わい、人物の立場や心情を考察する。</p> <p>○古典について、文法事項を踏まえて、正確に古文を読み取る。また、きまりを理解しながら漢文を読む。</p> <p>○書写の学習を通して、伝統と文化についてより深く理解し、中学校卒業後の日常生活にも生きるよう素地を培う。</p> | | |
| | <p>○現代文では、学問的な視点から書かれた教材を選び、日常の常識的な視点を相対化する。</p> <p>○古典では、文語文法漢文句法を学び、比較的平易な文章を解釈する中で解釈の基礎を身に付ける。</p> | | | <p>○現代文では、学問的な視点から書かれた教材を選び、日常の常識的な視点を相対化する。</p> <p>○古典では、文語文法漢文句法を学び、比較的平易な文章を解釈する中で解釈の基礎を身に付ける。</p> | | | | | |
| 社会科 | <p>【地理的分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界の地域構成 世界の人々の生活と環境 世界の諸地域 日本の地域構成 <p>【歴史的分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> 歴史のとらえ方 古代までの日本 中世の日本 近世の日本① | | | <p>【地理的分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界と比べた日本の地域的特色 日本の諸地域 身近な地域の調査 <p>【歴史的分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> 近世の日本② 近代の日本と世界 現代の日本と世界 | | | <p>【公民的分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高等学校「現代社会」 私たちと現代社会 私たちと政治 私たちと経済 私たちと国際社会の諸課題 3年間を振り返って | | |
| | <p>○「現代社会」の領域のなかで、特に、倫理分野を中心に学習する。とりわけ、古今東西にわたる知的遺産を手がかりにして、「より良く生きる」とはどういうことか、また、「考える」とは、どういふ活動をさしているのであろうかを考察する。</p> | | | <p>○「現代社会」の領域のなかで、特に、倫理分野を中心に学習する。とりわけ、古今東西にわたる知的遺産を手がかりにして、「より良く生きる」とはどういうことか、また、「考える」とは、どういふ活動をさしているのであろうかを考察する。</p> | | | | | |
| 数学科 | <p>中学1年内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 正の数と負の数 文字と式 式の計算 方程式 比例と反比例 | | | <p>中学2年内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 式の計算 連立方程式 1次関数 図形と合同 三角形と四角形 確率 | | | <p>中学3年内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 式の計算 関数y=ax² 相似な図形 三平方の定理 平方根 2次方程式 | | |
| | <p>不等式</p> <p>連立不等式</p> | | | <p>空間図形と計量</p> <p>確率の計算</p> <p>図形の性質</p> | | | | | |
| 文系 | <p>高校1年内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 数と式 2次関数 場合の数と確率 図形と計量 データの分析 整数の性質 | | | <p>高校2年内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 三角関数 式と証明 図形と方程式 いろいろな関数 いろいろな式 | | | <p>高校3年内容</p> <ul style="list-style-type: none"> いろいろな曲線と複素数平面 極限 微分法 | | |
| | <p>平面ベクトル</p> <p>空間ベクトル</p> <p>数列</p> <p>微分法</p> <p>積分法</p> | | | <p>数学探究</p> <p>大学で学ぶ数学の観点から中高6年間の数学の総まとめとして探究を行う。</p> | | | | | |
| 理系 | <p>高校3年内容</p> <ul style="list-style-type: none"> いろいろな曲線と複素数平面 極限 微分法 積分法 | | | <p>数学探究</p> <p>大学で学ぶ数学の観点から中高6年間の数学の総まとめとして探究を行う。</p> | | | <p>入試問題演習</p> <p>各大学の文系学部の出題傾向を踏まえ演習を行う。</p> | | |
| | <p>入試問題演習</p> <p>各大学の理系学部の出題傾向を踏まえ演習を行う。</p> | | | <p>入試問題演習</p> <p>各大学の理系学部の出題傾向を踏まえ演習を行う。</p> | | | | | |
| 理科 | <p>【第1分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近な物理現象 身の回りの物質 <p>【第2分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> 植物の生活と種類 大地の成り立ちと変化 動物の生活と生物の変遷 | | | <p>【第1分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> 化学変化と分子・原子 化学変化とイオン 電流とその利用 運動とエネルギー 科学技術と人間 <p>【第2分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> 気象と変化 地球と宇宙 生命の連続性 自然と人間 | | | <p>○高等学校「化学基礎」</p> <ul style="list-style-type: none"> 物質の構成 原子の構造と化学結合 物質と化学反応式 酸と塩基 酸化還元反応 <p>○高等学校「生物基礎」</p> <ul style="list-style-type: none"> 生物の共通性と多様性 生命の単位—細胞 細胞とエネルギー 遺伝情報とDNA 遺伝情報の分配 | | |
| | <p>○無機物質の性質や反応を実験・観察を通して探求し、周期表に基づいて整理・理解し、日常生活とも関連づける。</p> <p>○有機化合物の性質や反応を実験・観察を通して探求し、有機化合物の特徴を理解し、日常生活とも関連づける。</p> | | | <p>○生物の生理・生態を通して、自然のもつ多様性を理解し、その中に見られる共通性と進化の歴史を見いだす。</p> | | | | | |
| 英語科 | <p>コミュニケーション能力育成のための、英語の4技能のバランスのとれた基礎学力の育成を図る。</p> <p>○音声・文字・言葉に慣れ親しもうとする姿勢を持つ。</p> <p>○簡単な挨拶、自己紹介ができる。</p> <p>○身近な話題についてやりとりができる。</p> <p>○自分の学校生活についてスピーチできる。</p> <p>○簡単なテーマで自分について書いたり話したりできる。</p> <p>○基本的な文法を身につけ使えるようにする。</p> <p>○中2前期程度の構文と単語を身につける。</p> | | | <p>コミュニケーション能力育成のための、英語の4技能のバランスのとれた基礎学力の育成を図る。</p> <p>○対話形式で状況を描写する。</p> <p>○様々なテーマでスピーチができる。</p> <p>○異文化に対する興味・関心を高める。</p> <p>○自分の様々な体験をスピーチできる。</p> <p>○中学修了程度の文法を身につけ使えるようにする。</p> <p>○発展的な構文と単語を身につける。</p> | | | <p>コミュニケーション能力育成のための、英語の4技能のバランスのとれた基礎学力の育成を図る。</p> <p>○日本の文化や生活、風物について紹介できる。</p> <p>○社会的・歴史的な事柄についてプレゼンテーションができる。</p> <p>○研修旅行で学んだことをまとめて発表できる。</p> <p>○討論を繰り返したり、議論を問いたりして、自分の意見とその理由を表現できる。</p> <p>○高1程度の文法を身につけ使えるようにする。</p> <p>○高1程度の構文と単語を身につける。</p> | | |
| | <p>○情報や考えなどの受け手や送り手となる具体的な言語の使用場面を設定し、幅広い話題について英語で話したり、書いたりして英語の4技能のバランスのとれた基礎学力の育成を図る。</p> <p>○構文分析に基づいた英文精読力及び、情報検索型の英文速読力を培う。</p> | | | <p>○英語の4技能の基礎学力を定着させ、発信型コミュニケーション能力の育成をはかる。</p> <p>○英語でのスピーチを通して、まとまりのある話の概要や要点を聞き取り、それについて自分の考えをまとめて発表する力をつける。</p> <p>○話し合い、討論(ディベート)などの基本的なルールや発表の仕方を学習し、それらを通して積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。</p> | | | | | |
| 洛北サイエンスII | <p>【理科分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> Atomへのアプローチ 生命の神秘に挑む 波を科学する <p>【数学分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近な数学についての研究 日本ジュニア数学オリンピックへの挑戦 | | | <p>【理科分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> アナリストへの第一歩 群の不思議を探る <p>【数学分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近な数学についての研究 日本ジュニア数学オリンピックへの挑戦 | | | <p>【理科分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然現象を探究する <p>【数学分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> たくさんのデータから真実を探す 日本ジュニア数学オリンピックへの挑戦 | | |
| | <p>○課題設定能力及び課題解決能力の基礎となるデータ処理能力・ディスカッション能力・プレゼンテーション能力を身に付け、研究活動に積極的に取り組む態度を育成する。</p> | | | <p>○最先端の科学を体験しつつ、設定したテーマのもと、大学や研究機関との綿密な連携による継続的な探求活動を進めることにより、自然科学に造詣が深く主体的に研究を進めようとする態度を身に付け、将来研究者となる基礎を育成する。</p> | | | | | |

(注意) 1 ◆印は単元名、○印は学習内容を表しています。 2 この表は、平成24年度の学習内容を表しています。